

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書	
技術分野	①汚染水貯蔵
提案件名	漏水を検知しやすい汚染水貯蔵タンクの基礎底盤
提案者	石井 卓

1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)

貯蔵タンクからの漏水の可能性をゼロにすることは困難である。漏水をいち早く検知して、対策を施すことが現実的であるので、貯水タンクを定置する基礎底盤を図1, 図2のように排水溝を多数配置する。廃棄物タンクを複数の凹凸部を有する底板の上に定置し、凹部を流れる水を採取して測定することにより、廃棄物タンクからの漏水を検知することを特徴とする。図3に鉛直断面図で示すように、底盤に設けた多数の突起部によってタンク底面を支持するので、貯水タンクの剛性が低くても安定的に定置することができる。

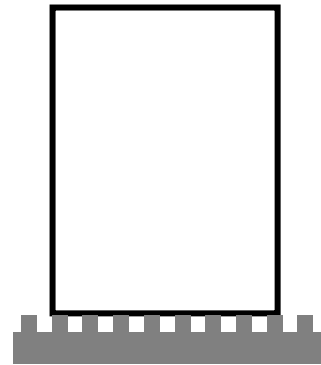
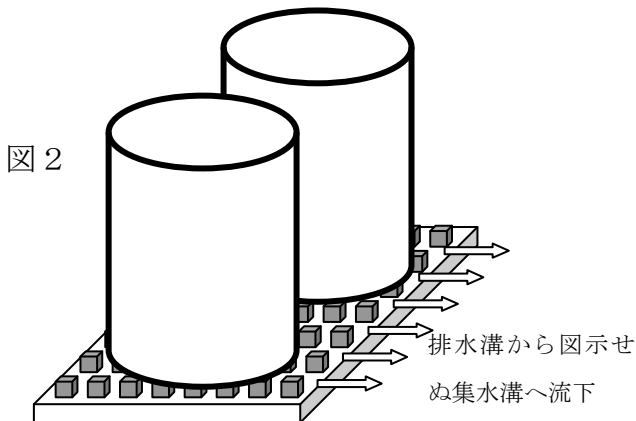
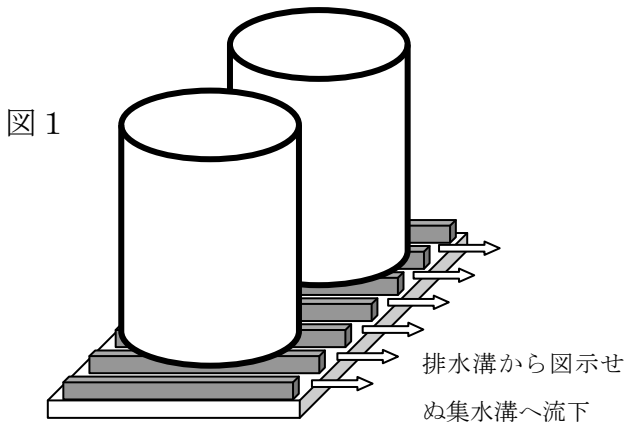


図3 タンク支持構造の凹部を漏水が流下

2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)

- ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)

実施例はないが、基礎底盤コンクリートの設計の工夫であって、いつでも実現できる。

- ・開発・実用化に向けた課題・留意点

基礎底盤の設計 (凹部の排水勾配, 要所に設けるサンプリング用集水溝の配置) は必要
サンプリング計画 (採取頻度と判断基準の作成) は策定が必要。

- ・特許出願中 (未公開)